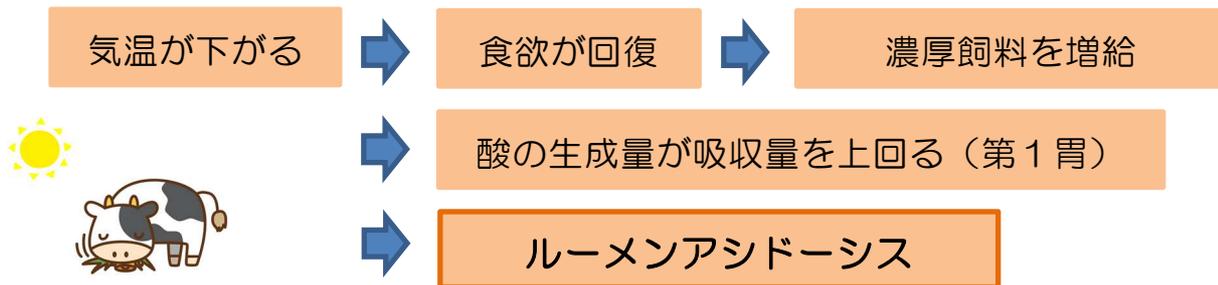


令和6年(2024年)9月30日

## 秋の飼養管理について

秋になると気温が下がり過ごしやすくなりますが、事故が増えやすくなります。夏の暑熱ストレスによる免疫力低下、ビタミン・ミネラル欠乏に、昼夜の気温差などのストレスが加わるため、秋は病気になる牛が増えてしまいます。



濃厚飼料の給与量を増やす場合は、粗飼料を増やして第1胃の発酵速度を緩やかにした上で、少しずつ増飼してください。生菌剤、吸着剤なども第1胃機能の改善に有効です。また、暑熱ストレスによって消耗しているビタミンやミネラル、強肝剤の補給も効果があるとされています。

## ランピースキン病について

ランピースキン病は、2019年以降アジアで発生が拡大し、2023年、2024年には韓国でも発生が確認されています。日本での発生はありませんが、侵入リスクは高まっています。

症状は、皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の低下などで、不顕性のものから重篤なものまでさまざまです。主に蚊・サシバエ・マダニが媒介して感染します。毎日の健康観察による早期発見・早期通報が重要です。また、媒介する害虫の駆除が侵入防止対策として挙げられます。



（出典：農林水産省）

